

松本順 まつもと じゅんと 陸軍軍醫。天保二年六月十六日江戸生れ、明治四十年三月十一日歿（二八三—一九〇七）。蘭方醫佐藤泰然の次男、松本良用の養子となる。字千良、幼名順之助、初名良順。號樂痴、蘭疇。長崎博習所でオランダの軍醫ポンペル學び、長崎養生所を開く。文久二年江戸へ歸り、西洋醫學所の頭取となる。明治四年兵部省出仕、陸軍軍醫部で編輯し、六年初代軍醫總監就任。

著書『養生法』（松本良順名、山内豊城校閲補註、元治元年五月跋・作樂戸藏）、『海水浴法概説』（二神寛治筆記、明治十九年八月杏陰書屋藏版）、『通俗民間治療法』（高松保郎筆記挿註、明治二十二年九月十日愛生館）、『衛生之心得』（高松保郎筆記、明治二十二年十一月十一日愛生館）、『國家幸福之種時——名よき子や——のつはなし』（高松保郎筆記、明治二十二年八月十五日愛生館）、『新撰醫療便方』（訂正再版・明治二十五年十一月一日神奈川・松壽堂）、『松本順自伝・長与専斎自伝』（小川鼎三校注、昭和五十五年九月十日平凡社「東洋文庫」）等。

